

(参考様式5)

事業活用活性化計画目標評価報告書

活性化計画名	武名瀬川地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
栃木県 下野市	(栃木県)90000 (下野市)92169	1	平成20年度 ～平成24年度	平成20年度 ～平成21年度
活性化計画の区域				
武名瀬川地区（栃木県下野市） 武名瀬川地区活性化計画は、栃木県下野市南東部の受益77haを計画区域とし、ほ場条件の整備を行い農用地の集団化を行うことで、農作業の効率化や農業後継者の意欲増進を図るとともに、担い手への農地集積を促進し農業従事者の定住化を図ることを目標として策定したものである。				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
定住等の促進に資する基盤整備の円滑化	1年	1年	100	

(コメント)
 目標どおり本事業実施後1年以内に基盤整備事業である経営体育成基盤整備事業武名瀬川地区に着手することができた。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
基盤整備（農用地等集団化）	経営体育成促進換地等調整事業 77ha		栃木県土地改良事業団体連合会
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
	平成20年度	平成21年度	
事業の効果			
経営体育成促進換地等調整事業を実施したことにより、平成22年度に経営体育成基盤整備事業を円滑に着手することができた。			

3 総合評価

(コメント)

下野市

本事業の実施により、事業開始前の土地権利関係、地元権利者の意向等を詳細に調査することは、事業着手後における換地計画樹立や換地処分の実施を円滑に進めるためには必要不可欠です。

栃木県

本事業により農用地の集団化が円滑に進み、基盤整備事業が着手されたことで農作業の効率化、担い手への農地の利用促進が期待される。

4 第三者の意見

(コメント)

地区内の田畑及び農道等の基盤整備は、農業の活性化を促すために必要なことであり、今後の地域の発展に繋がると期待している。

(下野市農業委員会 会長 高田 憲一)